



「Gマーク」取得で広がる未来

「市田柿」世界のブランドに。

## 主な内容

会長挨拶	光澤 武 2	ふるさと「高森町」	片桐孝子 6
高森町長挨拶	壬生照玄 2	ふるさと高森 離れて47年	岩崎久芳 7
第29回定期総会	龍口昭人 3	松戸に半世紀住んで	原計芳 7
総会・懇親会スナップ	3	高森俳壇	酒井弘司・選 8
会員交流会		ふるさと自慢	
「生まれ変わった銀座の散策とカラオケ体験会」	平沢 洋 4	市田柿の歴史と未来	羽生義雄 9
ふるさと春・秋の農作業支援	龍口昭人 4	広告ページ	10
高森会ホームページ	5	会員動向・お知らせ掲示板ほか	11
「ふるさと便り」	高森町役場 遠山景太 5	編集後記	岩崎邦彦 11
会員広場		千葉支部小景	遠山速水 12
私の街「文京区湯島」	塩沢泰弘 6		

## 会長挨拶

会長 光澤 武



る状況です。高森会が発足して三十年、先輩達が築いた他に類のない素晴らしい財産、後輩に継ぐ財産として消すわけにはいきません。高齢化への対処は難しいが、先ずはみんなで若い会員を誘客し、同じふるさとで育った仲間と絆を深め、ふるさとを自慢できる楽しい高森会づくりに是非ともご協力を頂きたく切にお願い申し上げます。

皆さまこんにちは。日頃は高森会の事業活動にご協力いただき誠にありがとうございます。本日は大変ご多忙のところ「高森会第二十九回定期総会並びにふるさと南信州高森の集い」にご出席いただきありがとうございます。また、本日の総会には、ふるさと高森町より公務多忙の中、壬生新町長はじめ本島総務課長・多田井課長補佐・遠山主宰にご臨席頂き誠にありがとうございます。

先程の総会におきまして議案は全て原案通りご承認頂きました。今後は皆様のご協力を頂きながら、本年度の事業計画を着実に実行していく所存であります。

ところで今、当高森会の最大の課題は「会員の減少と高齢化」問題です。現状、会員数は172名、平均年齢76歳です。正に「限界集落」状態で事業の推進はおろか組織の存続も危ぶま

今年の会員交流会は、史跡名所めぐりと食事会。ゴルフ会・カラオケ会等企画しております。詳細は後日のご案内となりますが、皆様には積極的にご参加いただきふるさととの絆を深めていただければと願っております。

本日の懇親会は、精養軒の特別仕立てバイキングを用意させて頂きました。どうぞごゆっくりご歓談いただき、恒例のふるさと特産品販売コーナーもお楽しみください。

最後に、ふるさと高森町の益々のご発展と本日ご参会の皆様のご健勝を祈念いたしまして会長挨拶とさせていただきます。

ありがとうございます。

## 高森町長挨拶

町長 壬生 照玄



高森会（関東地区）の皆さまには、ふるさと高森町に対しましてご高配をいただきと共に、多くの会員の皆さまからご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

去る五月二十六日には、第二十九回高森会の総会が、多くの会員の皆さまご出席のもと、盛大に開催されましたこと、お喜び申し上げます。

昨年までは、高森会の担当課長として皆様にご大変お世話になりましたが、今年一月に行われました町長選挙に、二十三年間お世話になった町役場を退職し、これまでの行政経験を活かしつつ、リニア新時代を迎える当町に新たな形で貢献したいと思ひ、町長選に立候補させていただきました。多くの町民の皆様のご理解の元、なんとか当選することができ、町政を担うことになりました。今後ともご指導の程、よろしくお願ひ申し上げます。

さて、地方創生時代を迎え、町では、子育て支援を充実させることで、特に若者世

代の地元定着に積極的に取り組んでまいりました。この五月には、丸山公園内に子育て拠点施設「あつたかてらす」が、六月には隣地に下伊那地域待望の「高森レディーススクリーニック」がオープンしました。二施設での協力体制により、官民連携の新たな充実した子育て相談や就業支援などを行うことができます。毎日多くの皆さんが訪れ賑わっています。町では、この施設を拠点に、これまで以上に、包括的に子どもや女性に優しまちづくりを進めてまいります。

現在、人口減少・少子高齢化の進行は、各自自治体間での、人口の取り合いを激化させています。しかし、私は決まった人口を取り合うのではなく、都会に出る若者の自主性も尊重し、故郷は伊那谷であり高森町であるという気持ちを持っていただける人を一人でも多く育てることが大切と考えています。つまり、当町の自然・景観・文化などをきちんと知ること、伊那谷特有の温かい人柄とも相まって、人と時、町が繋がり、観光人口ではなく、高森町の「関係人口」の増加につながると考えています。その上で、リニア新時代を迎える当たり、高森町での必要なサービスや拠点づくりを、町民の皆さんと一緒に検討していくつもりです。ぜひ関東地域の諸先輩方からも、今後の取り組みに対して、ご意見を寄せていただきたいと思います。

結びに、高森会の益々の発展と、会員各位のご健勝、ご活躍を、高森の地よりお祈り申し上げます。挨拶とさせていただきます。

## 高森会(関東地区) 第二十九回定期総会

幹事長 龍口昭人

平成三十年度、第二十九回定期総会は、五月二十六日(土)、浅草の台東区民会館で開催されました。

当日は会員38名、ご家族・紹介者が8名及び高森町役場からの来賓4名、合わせて50名の方が参加されました。

### 来賓の方々

町長 壬生 照玄様  
 総務課長 本島 憲様  
 総務課長補佐 多田井 素様  
 総務課企画振興係主事 遠山 景太様  
 定期総会

総会は、予定時刻に開会、来賓紹介の後、さっそく議事に入りました。

二十九年度の会務報告と会計・監査報告が担当幹事、監査委員から報告説明があり、拍手をもって了承されました。

議案の最後は、三十年度の事業計画に

### 総会風景



ついて、本件も提案説明通り承認されました。  
 その他会員からの意見は無く、議事を終了しました。

引き続き町の近況紹介については、役場からのDVDによって、町制施行六十周年記念事業やふるさとの情景を30分間程鑑賞しました。

三十年前に埋めたタイムカプセルの開封の様子や市田・山吹の地それぞれに行われた町民運動会が躍動的に映し出されていました。

映像の終わりは、南アルプス前に特産の柿畑や吊るし干しの情景等ふるさとの段丘景観を懐かしみました。

次に第二部の懇親会は、先ず主催者として光澤会長があいさつ、引き続き来賓の壬生町長は、本年一月から町長を務めているが、まだ48歳、山の寺の副住職もしているが、町民の期待に応えられるよう頑張っていくと、力強く若さ溢れたあいさつでした。

乾杯が終わり、町長は早速各テーブルの会員とひとことふたこと言葉交わし回られ、他の来賓も若く気さくで会場は和やかな雰囲気となりました。

塩いか・五平餅・小梅や鯉甘露煮等ふるさと特産品の販売を終えて、高森町歌・信濃の国を合唄、中締めとなり、万歳三唱し来賓をお見送りしました。

つどのしまいは、福引抽選会、福引が当たりニコニコ顔の会員も、抽選ハズレ会員も、当会からの手みやげを持って散会になりました。 以上

## 総会・懇親会に参加して一言

実家松岡城近く。町の中のお城の話詳しい。久し振りの参加、町長と美女に囲まれて。  
 串原兼臣さん(下市田4区出身85歳)



「毎回家族で参加しています。」  
 中川正文さん



## 総会・懇親会のスナップ

ふるさとへの想いを熱く語る会員。



中学3年になった時、北・南の生徒を合体してクラス分け、最初の卒業同級生達で誘い合い参加。(昭26生、中41卒) 原 宣人さん(山吹追分・長沼 真さん(上市田) 小平典夫さん(山吹駒場)・小平信男さん(山吹電口)



# 会員交流会

## 生まれ変わった銀座の散策とカラオケ体験会

行事担当 平沢 洋

今回の会員交流会は趣向を変え「自ら行動する」をテーマに、銀座散策とカラオケ体験会を企画しました。



平成二十九年十月十二日(休)。集合場所は銀座三越のライオン像前。午前11時に集合、参加者20名内9名が女性で、賑やかに交流会スタート。

まずは、大勢の観光客が行き交う銀座散策。そして目指すは話題の「GINZA SIX」へ。ここは銀座六丁目「松坂屋」跡地で13階建



百種類のフリードリンクが満喫できる銀座の穴場。全員着席したところで本日の参加者の自己紹介を行いふるさとの絆を深める。そして飲み放題歌い放題の宴の世界へ。  
会員交流会初のカラオケ体験会でしたが大盛況。最後は店のスタッフも加わり「信濃の国」を合唱し午後4時にお開きとなった。

ての大規模な複合商業施設です。内外の241ものブランド店や有名レストラン。観世能楽堂など文化施設もあり、屋上には1200坪の大庭園。海外からの注目度も高いスポットです。参加者の皆さんは40分の自由探索ということでいざ店内突入。集合時には、「目の保養にはなったが買いたい物がなかった」との声。

次の行程は「GINZA NAGANO」の見学とお買い物。平成二十六年に有楽町から銀座すずらん通りに移転した長野県のアテナシヨップ。スタッフには長野県関係者も多く買物よりもふるさと談議で盛り上がる様。

次いでお楽しみランチタイム。会場は「GINZA NAGANO」3Fにある「銀座真田」。地元軽井沢や都内に信州料理と蕎麦を展開する先進のお店です。信州蕎麦のランチコースを頂きひとまず落ち着く。

銀座気分を味わいお腹も落ち着いたところで一同最終コースへ。舞台は銀座コリドー通りにあるレストランカラオケ店「コートタジュール」。上質なひとときと

# ふるさと春・秋の農作業支援

埼玉支部 龍口 昭人

ふるさと援農、高森会有志グループ（会員とその知り合い元気者達）は、昨年秋季の市田柿収穫作業支援には、十一月一日から五日の間で16名が、りんご収穫作業支援は、十一月二十二日から二十七日の間で8名が参加しました。また今年春のりんご一輪摘花作業支援にも、22名が参加しました。

言うまでもなく、柿やりんご収穫も春から秋にかけての天候次第、昨年は、霜の影響や二度の台風に見舞われ、柿の木は葉が飛んでしまい、じゅくし柿が多くなり、収穫が急がれる状態であった（安藤達夫談）とか、りんごは落下、H29年秋援農支援者達

キズ物になり、農家の方は頭を抱えていた（小平敬談）など、お茶休みに農家の方々とのお話交流も楽しみの一つです。

今年春の援農、りんご花摘み支援が行われている五月二日夜は、研修センター森の家で、受け入れ農家組合・町関係者と支援者の交流懇親会がありました。

支援者の参加は24名でしたが、支援期間が長く帰った人もいて、町全体では80名程の応援になるとのことでした。

また受け入れ農家組合長さんのあいさつには、農家全般高齢者が多くなり、支援者の力が欠かせなくなってきた状態、元気仲間を連れだして応援に来て下さいの言葉あり、重く受け止めた次第でした。



H30年春  
受け入れ農家・町関係者  
支援者との交流懇親会

H30年春  
りんご畑での  
援農支援者達

高森会の情報はホームページでもご覧いただけます

南信州高森会（関東地区）



南アルプス

ホームページアドレス

<http://takamori.la.cocan.jp/>

又は高森会で **検索**

掲載一覧

- 掲示板  
『掲示板』はみなさんの情報交換の広場です。
- 第29回定期総会・懇親会  
平成30年5月26日(土)
- 援農ボランティア活動  
春のりんごの花摘み作業  
秋の市田柿収穫作業の支援
- 会員交流会 平成29年10月12日(木)  
銀座散策とカラオケを楽しみました。
- ★ ホームページでは皆様からの投稿をお待ちしています。  
各ページのコメント欄の書き込み、又はメールでもお受けしております。  
E-mail : [takamorkai@gmail.com](mailto:takamorkai@gmail.com)

『定期総会』並びに『ふるさと南信州のつどい』

平成30年5月26日(土)

土曜日とあって、外国人観光客で賑わう浅草仲見世通り、浅草寺のすぐそばにあるお馴染みの台東区民会館で、町役場から壬生町長さんはじめ4名のご出席をいただき、46名が参加して、第29回の高森会総会・懇親会が開催されました。

総会は天候にも恵まれ、予定通り11時20分開会となり、先ず役場からのご来賓4名が紹介されました。

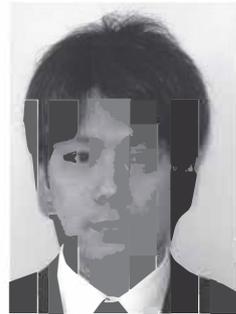
引き続き議事に移り、高森町の人口は1万3千人、年少人口割合15%と県内でも2番目に若い子供の比率が高いなどを記録した、高森町政要覧と住居地に賦めている住民税をふるさとにも納税すれば、納税額の2～3割程度のふるさと特産物が届けられるというふるさと納税申し込みパンフレットと一緒に配布された総会資料について、それぞれの担当者が説明。提案・報告事項は異議無く了承され、総会は終了しました。



高森会の  
担当者から

「ふるさと便り」

高森町役場 総務課  
企画振興係 主事 遠山景太



今年度より総務課企画振興係を務めさせていただきます。遠山景太と申します。高森

会の皆さまには、いつも高森町を温かく見守っていただき、ありがとうございます。

さて、高森町では今年の五月五日(子どもの日)に高森町女性活躍子ども子育て拠点施設「あったかてらす」の落成式を行い、六月よりオープンしました。丸山公園のどこかな自然の緑に囲まれた施設内では、毎日たくさん親子が一緒に楽しく遊んでいます。一階のプレイルームには安全に遊べる

て、子どもたちの成長につながる遊具を

設置し、健診室や授乳室・相談室も完備しています。一階のワーキングスペースでは子育てをしながら働く新たな就業形態クラウドワークの整備を進めています。「あったかてらす」は出産と子育ての不安や悩みを解消し、健やかに育ち合うためのつどいの場であり、子育て施策を重点に置く高森町のまさに拠点となる施設です。高森町へお帰りの際は、ぜひ一度お立ち寄りいただき、高森町の新たな風を感じてください。

高森町は昨年度節目の町政施行六十周年を迎えました。昭和三十二年に高森町が誕生してから今日まで、先人たちが紡ぎ繋いできた歴史や伝統を大切に、六十年目の今年も豊かな自然と温かく気さくな住民が作り上げる素敵な高森町を目指してまちづくりを進めてまいります。結びに、高森会の益々のご発展と、会員の皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。拙筆ではありますが、ご挨拶とさせていただきます。



「あったかてらす」の落成式



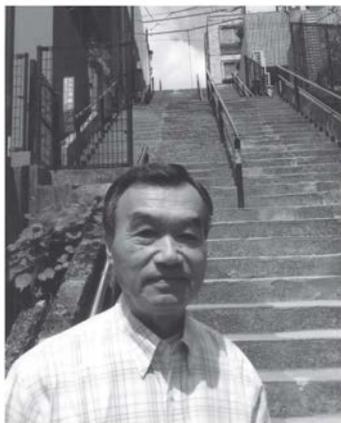
# 会員 広場



## 私の街

### 「文京区湯島」

東京第一支部 塩沢泰弘



実盛坂(さねもり坂)

私は文京区湯島に二十年程住んでいます。文京区は坂の多い街で、家から徒歩5分も掛らない湯島天神までに、清水坂・妻恋坂・三組坂・実盛坂(約六十段の急な階段)・中坂・男坂(約四十段の急な階段)・女坂(緩やかな階段)・切通坂と八つもの坂があります。さらに東京ドームへ行く途中にはガラガラと長い沓岐坂(いぎざか)という坂もあり、その他名前のない坂がいくつもあります。年齢が上がってきたので坂道、特に上り坂はキツイものがあります。

湯島天神はご存知の通り学問の神様



湯島天神

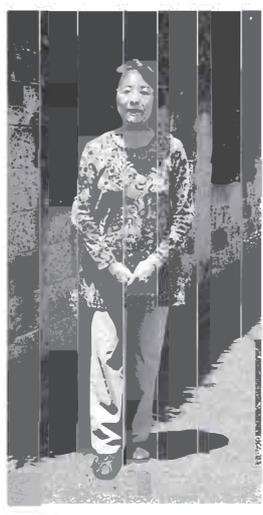
で、年末年始の参拝客以外に大勢の受験生が合格祈願に訪れ、二月の初め頃からはお札参りの参拜でお正月とは違った賑やかさになります。また一月中旬過ぎのウソ替え神事の頃には梅の花が咲き始め、恒例の梅祭りには大勢の方が訪れ、春が来たことを感じます。

健康のためにウォーキングをほぼ毎日一万歩以上を目標にやっています。ウォーキングコースの一つに東大構内散策があり、龍岡門から三四郎池・安田講堂・赤門を巡り小石川後楽園方面へ歩き廻ります。三四郎池は有名?な割にはなんの変哲もない池です。東大へはウォーキングとは別に、昼時に安田講堂地下の学生食堂で昼食を摂ったりすることもあります。種類も多く安くくて美味しいのでお勧めです。

「古さの中に新しさもある」湯島はそんな街です。

## ふるさと「高森町」

神奈川支部 片桐孝子  
(旧姓 柏原)



五月二十六日に高森会(関東地区)が開催され出席致しました。このところ何年も出席しなかったのが今年は参加して見たいと思ひ近所のお友達をお誘いしたところ、お友達の故郷ではその様な集まりが無いから行って見たいと云う事で一緒にしました。幸い天気に恵まれ、電車を乗り継ぎ会場へ…。

会場には高森町長さん始め同行された方々が高森町の昔と今の移り変りをビデオで見せて下さり、本当に懐かしく拝見しました。全員で「信濃の国」を合唱し改めて歌詩のすばらしさに感動しました。日本中で県歌のあるのは長野県だけで誇りに感じました。年齢を問わずこうして故郷の想い出を語り合い、五一ワインを片手にバイキングを頂き乍ら楽しいひとときを過ごす事が出来ました。最後にビンゴゲームも皆歓声をあげて楽しみ、景品も頂いて参りました。

お友達もビデオの放映を見て、是非高森町へ行って見たいと話しておりました。機会を作ってご案内したいと思ひます。又田舎の特産品・五平餅・鯉のうま煮・塩いか・ヨーグルト・梅漬け等お土産をすっかり買

### 高森会 関東地区 総会 懇親会



ふるさとのビデオを見て  
里山の魅力に惹かれました  
左は近所のお友達 吉田太佳子さん



い込み、一寸重くなりましたが頑張っ  
て持ち帰りました。しばらく故郷の  
懐かしい味を楽しむ事が出来そうで  
す。本当にありがとうございます。  
八十路越え なお故郷をなつかしむ

## ふるさと高森 離れて四十七年

埼玉支部 岩崎 久芳



私は高校を卒業し、昭和四十六年に上京、浅草にある下市田出身の創業者の皮革に携わる経営者には、下市田出身の方が多く見受けられます。会社入寮初日に母親が準備してくれた布団が、雨漏りでシミがつき涙した思い出があります。

創業者は勉学に理解があり、働きながら夜間大学に通わせてもらい、四年で無事卒業することが出来ました。昭和五十二年結婚と同時に春日部市に移りました。この街は、クレヨンしんちゃん野原一家が住んでいる町としてアニメファンから人気の場所です。

また桐たんす・麦わら帽子・羽子板等も知られています。もう一つは、ご当地が今年五月に、「全国ランニング大会100選」に選ばれ、私もハーフマラソンに参加しました。私は若い時はソフトボール、最近ではゴルフもと運動で心身の健康を保っています。中でも走る事が大好き、東京マラソンは八回、その他各地を遠征して走っています。東京マラソンは、東京の名所を見ながら走れる喜びと、ボランティア、沿道の応援協力で苦しいけど、勇気をもらい楽しく走ることが出来ます。笑顔で走り終えた感動は、走った人でないとわからないと思います。もう歳ですので、ハーフマラソンに切り替えていくようにしています。

このように丈夫に生み育ててくれた両親に感謝し、家内の生活にも感謝です。この先定年後は、家内と温泉巡りも夢の一つ、今は近くに住む子供達2人とその孫達5人で日々大切に暮らしていくことと、地域に対しても、自治会を中心に色々なことに貢献していきたいと考えています。



2017東京マラソンの様子  
浅草地点 (スカイツリーをバックに)

## 松戸に半世紀住んで

千葉支部 原 計芳



僕は既に傘寿を超えています。その間約五十年を松戸に居を構えているので、伊那谷に居た期間を遙かに超えており、云わば第二の故郷になっています。家は街の中心部から少し離れて、市川市に隣接する台地の上にあります。散歩できる範囲でも周辺になかなか魅力的な所がありますのでそれを紹介したいと思います。

1 「二十世紀梨」誕生記念小公園  
徒歩約10分の所にある小公園で、住所の大字はこれに因んでいます。この地方では従来、長十郎系の梨が栽培されていましたが、明治二十年代変種の苗が発見され、二十世紀新時代の花形果物となるべく命名されたそうです。原木もずっと在りましたが第二次大戦の空襲で傷を受け枯れてしまい、今は市の博物館に展示されています。

2 戸定館(水戸徳川氏別邸)  
水戸藩最後の藩主・徳川昭武公(慶喜異母弟)が宗家の家督を甥に譲り江戸川から遙か東京の方まで望める景勝の地此処戸定が丘に居を定めたのが始まりです。本格的な武家屋敷造りの屋敷と洋風を取り入れた広大な庭園があり、慶喜公も度々訪れ狩りや写真撮影を楽しんだそうです。

3 野菊の墓文学碑から矢切の渡しへ  
家から徒歩20分程の下矢切・西蓮寺境内に伊藤左千夫の名作「野菊の墓」文学碑があります。小説の舞台がこの辺りという事で、土地の有志により昭和四十年に建てられたもので、碑文は左千夫門人の土屋文明が撰しました。

名勝・重要文化財になっています。庭の樹木も多彩で四季夫々趣きが変わっていくのも楽しいものです。

文学碑のある台地を下り田畑が広がる平地を真っ直ぐ北に進むと江戸川の矢切の渡しに着きます。対岸は柴又の帝釈天です。下流の国府台里見城址公園も含めて絶好の散策コースになっています。

\*  
松戸は水戸街道の宿場町として発展、現在人口約五十万、千葉県下第三位の大都市です。唯、この頃感じるのによく言えは落ち着いているとも言えますが、やや活気が乏しいのではないかとはいえないかと。東葛地方の文化的・経済的・政治的中心として今一度輝いて欲しいと願っています。



戸定邸 (国指定重要文化財) と庭園 (国指定名勝)

# 高森俳壇

酒井弘司・選

吉川 照峰

月下美人物語

起 宵闇の月下に開く美人花  
承 花開き高香流れるゆるやかに  
転 天空の姫の羽衣かくありや  
結 絢爛も夜のひととき明けに消え

木村 勇

水仙の花押し倒すなごり雪  
たけのこの頭すり足で探し出し  
暑気狂い葉桜だけの花見会

林 璋

白桃やエステサロンへ足むける  
団栗が言へり「わたしを離さないで」  
割り算の余りを生きて竹の春  
ヴィヴァルデイの曲奏でつつ春の川  
隠蔽と忖度の世か雪積もる

松下 善一

狭い庭都忘れが風に揺れ  
この時期はどこを向いても桜あり  
野アザミは豪雨の中に凜と立ち  
春菊と味噌の香がする朝ご飯  
深見草地面を飾り散り急ぐ

田中 くに子

武蔵野の川の観察余寒かな  
山奥の雨乞青き獅子頭  
山の寺院に広がり翁草  
通学路垣に蜂呼び金銀花

羽生 義雄

紫陽花や孫の面影眼裏に  
伊那谷へ走る車窓に南ア残雪  
杉並木石垣の間に光苔  
夕焼けて丹沢越しの富士の秀麗  
萼の花在りし従兄弟を思い見る

小宮 昭美

手作りの花器にどくだみおさまりて  
お洒落用気分によって杖えらぶ  
古木だが責任感じ花芽もつ  
汲み桶にくっきり写る春の月

塩沢 烈子

オープンバス千鳥ヶ淵の花万朶  
手のひらに舞ひ来る桜一、二片  
海の幸どれも新鮮花見酒  
心地よく舟に揺られて花の宴  
隅田川思い出あまた花衣

岩崎 悟

空澄みて高遠城趾に若葉風  
白藤のトンネル抜けし人と香  
足利の大紫藤見て空を見て  
蜂の子と地酒野沢菜諏訪の宿

光澤 武

ウグイスや今年も谷越え聴けるかな  
木の芽焼きテレビドラマで全国区

## (選評)

○吉川照峰さん―「月下美人物語」と題して、四句の上に「起承転結」の字を置いている。

これは、漢詩の構成法の一つ。なによりも想像力がゆたかな一連。

○木村勇さん―「水仙の花」の句。下句に「なごり雪」を置いたのが、よかったですね。

○林璋さん―「ヴィヴァルデイ」の句。

「春の川」がヴィヴァルデイの曲を奏でているようだ、という発想が、なによりも新鮮。

○松下善一さん―「春菊と」の句。季節の野菜での朝食は、なにも代えがたい。日常を詠むということは、このようなことです。

○田中くに子さん―「山奥の」の句。

自然を崇めるこの風習は、いにしえからのもの。地霊への故郷の人々の力を感じます。

○羽生義雄さん―「伊那谷へ」の句。

下句の「南ア残雪」は定型の五音を越えて破調ですが、故郷へ帰る喜びが伝わってきます。

○小宮昭美さん―「手作りの」の句。

自分で作陶した花器に、庭先でとったどくだみを活ける。美しさがかわだった部屋に見えます。

○塩沢烈子さん―「手のひらに」の句。

下句では「桜一、二片」と置いているのですが、満開の桜を一、二片と捉えたところが見事。千鳥ヶ淵の桜でしょうか。

○岩崎悟さん―「空澄みて」の句。桜の終わったあとの高遠城趾公園でしょうか。下句の「若葉風」が、よく活きています。

○光澤武さん―「ウグイスや」の句。

「今年も谷越え聴けるかな」と言っているのですが、この春も元気で生きている自らへの喜びを感じます。

\*

「高森俳壇」。今年も10名のみなさんから作品をいただきました。

そして、なによりも嬉しかったのは、何年も続けて出句されていて、名前を知っている方の多いことでした。

俳句は短い文芸ですが、作品を残しておく、それは日記と同じように、自らの生きた歳月をいつになっても、映し出してくれるものです。

「石の上にも三年」と言いますが、じっくり今後も俳句と向き合ってください。期待しています。

六月二十二日、東京・有楽町の朝日ホールで、「金子兜太先生お別れの会」があり、献花してきました。

先生は、わたしの俳句の師ですが、18歳で俳句をはじめ98歳まで、七十年間俳句をつくってこられた方でした。

どうぞ健康で、来年もまた、みなさんの俳句に会えることを楽しみにしております。

## 短夜

酒井弘司

短夜の母はいつより起きていし  
きょう生きて山吹の黄に会うよ  
薫風を胸に受けとめ歩け歩け  
どくだみ白し青春の旗遠く遠く  
沙菜ちゃんと呼んで蛍をみにゆく夜

ふるさと自慢  
市田柿の歴史と未来

高森会顧問 羽生 義雄



不動 滝

今や全国的に知名度が高いふるさとの特産品「市田柿」だが、その発祥の地としての由来を明らかにしたい。そしてその証を調査整理し確たる証拠を系統だてて叢書として残し、これを基に「市田柿」の更なる発展とふるさと高森町が「市田柿の里」として繁栄していくって欲しい。そんな思いを当時の高森町熊谷町長に提案したところ快く賛同を頂き、平成十八年に「市田柿の由来研究委員会」が立ち上げられた。十二月に初会合が開かれ委員12名、特別会員としてJ A南信州高森・高森商工会の他に唯一高森町を離れている私が任命されました。



市田柿発祥の地で育った私たちは、世界に認められた最高のブランドの「市田柿」を国内は勿論、世界の友人知人に大

もつことが「高森会員」の誇りです。

以来、平成二十一年九月まで足かけ四年、北沢富夫会長・高森町歴史民俗資料館長の手塚勝昭氏を中心に年間四〜五回の委員会が開かれることとなった。高森町誌、過去の郷土史家の研究等の資料、また、柿の原木が在った場所や、栽培普及へ努力され近隣の村々に接木の苗木を移植し広めた当時の方々

の形態や、三穂村地域では市田柿とは違う「立石柿」が生産されていたとの歴史。また、旧家の古文書、古老からの聞き取り等多数の協力者にも助けられ深い調査をすることができた。

「市田柿の由来研究委員会」はこのよう調査研究を重ねて以来四年、その成果として平成二十一年三月に「市田柿のふるさと(誕生から今日までの歴史をふりかえる)」の本を監修発行致しました。以来、「市田柿」は高森町の皆様方の更なるご努力により益々国内外に知られることとなってきております。

中央・南アルプスに囲まれ天竜川に面する河岸段丘の自然環境に恵まれ、また熱心な柿栽培農家のご努力により「市田柿」は南信州の特産品となった。平成十八年に地域資源をブランドとして磨き上げる「地域ブランド」制度(地域団体商標登録制度)がスタートし、「市田柿」が長野県下初の地域ブランドとして認定され、国からお墨付きを頂いたのです。

「市田柿の由来研究委員会」はこのよう調査研究を重ねて以来四年、その成果として平成二十一年三月に「市田柿のふるさと(誕生から今日までの歴史をふりかえる)」の本を監修発行致しました。以来、「市田柿」は高森町の皆様方の更なるご努力により益々国内外に知られることとなってきております。

「市田柿の由来研究委員会」はこのよう調査研究を重ねて以来四年、その成果として平成二十一年三月に「市田柿のふるさと(誕生から今日までの歴史をふりかえる)」の本を監修発行致しました。以来、「市田柿」は高森町の皆様方の更なるご努力により益々国内外に知られることとなってきております。

を冠した特産品を知的財産として保護する「GI制度(地理的表示制度)」に認定されました。勿論県下初の快挙です。昨今、市場では消費者に誤解を招くような商品名が横行していますが、認定の「GIマーク」を示すことで他産品との差別化・消費者の信頼増進・生産者の利益と業界の発展が期待できます。

「市田柿の由来研究委員会」はこのよう調査研究を重ねて以来四年、その成果として平成二十一年三月に「市田柿のふるさと(誕生から今日までの歴史をふりかえる)」の本を監修発行致しました。以来、「市田柿」は高森町の皆様方の更なるご努力により益々国内外に知られることとなってきております。



地理的表示保護制度として認定した「マーク」です。

## 銀座セントラル法律事務所

弁護士 下井 善 廣 下市田5区出身  
昭和33年 高森南中学校卒業

〒104-0061  
東京都中央区銀座1丁目7番6号  
タニザワビル9階  
TEL:03-3564-5066 FAX:03-3567-5760

TKC  
コンピューター会計

## 中川税務会計事務所



税理士 中 川 正 文 (山吹中出身)

〒170-0013 東京都豊島区東池袋一丁目31番10号  
ドミール池袋807号  
電話 03(3590)7331番  
FAX 03(3590)7438番  
e-mail:nakagawa-masafumi@tkcnf.or.jp

## ギャラリー 伊 那 谷

- ・写 真 ・古美術
- ・伊那谷ウォーキング会
- ・高森で週末故郷暮らしの会

大 沢 章 雄 (下市田3区出身)

〒252-0021 神奈川県座間市緑ヶ丘3-29-14  
電話・FAX 046-253-8133  
携帯 080-5420-8133

郷里へのお土産は  
浅草は、仲見世

## なかつかで

雷おこし、人形焼をどうぞ  
仲見世通り左側奥です

中 塚 隆 蔵 (吉田地区出身)

〒111-0032 東京都台東区浅草1-37-1  
TEL 03-3843-4455

●高森出身の方は、多少サービスさせていただきます。

## 医療法人 社団 慈生会 梶ヶ谷クリニック

院 長 羽 生 仁  
副院長 羽 生 健  
" 羽 生 友起子  
理 事 羽 生 桂 子 (上市田出身)

〒213-0013 川崎市高津区末長163-1 TEL 044-877-0608  
田園都市線 梶が谷駅下車3分

メディカルサポート フィットネスクラブ 併設 (同ビル内)

はにゅう整形外科 院 長 羽 生 亮

〒343-0823 埼玉県越谷市相模町3-1391-1 TEL 048-961-5577

# 会員動向

## 会員の現況

支部	会員数
東京第一	40
東京第二	21
神奈川	55
埼玉	29
千葉	19
外周	8
合計	172

(平成30年5月現在)

## 新入会員紹介

○神奈川支部

原 宣人 / 山吹上

川崎市中原区

○埼玉支部

長沼 寛 / 上市田

蓮田市

## 入会お誘い

### キャンペーン実施中

ふるさと南信州高森町出身の新しい若い仲間をお誘いして、更に魅力ある高森会づくりを進めましょう。

お待ちしております

おります



## お知らせ掲示板

### 第三十回定期総会・交流懇親会

日時 平成三十一年

五月二十五日(土)

場所 台東区民会館

三十回の記念大会です。

みんなで誘い合って参加して

ふるさとの絆をあげませんか！

### ふるさと農作業支援活動

秋季 十月下旬～十一月上旬

市田柿収穫作業など

春季 平成三十一年四月下旬～

五月上旬

りんご摘花作業など

宿泊 「森の家」交流センター

詳細は、担当の龍口昭人氏へ。

☎ 042-9998-12667

### ふるさと訪問旅行

「高森まるごと収穫祭」見学と

りんご狩り・名湯一泊旅行

日時 十一月十七日(土)～十八日(日)

詳細案内は九月発送の会報に同封

します。

### 会員交流会

#### 名所散策会

カラオケ体験会等

会員健康長寿型メニュー企画中

ご期待ください。

(行事担当)

## ゴルフ同郷会

### ゴルフ好き集まれ！



日本一楽しいゴルフ会 春・秋開催中  
窓口・行事担当 平沢 洋 ☎ 045-541-6798

### 表紙の写真説明

ふるさとの特産品「市田柿」。  
生産農家の方々や関係者の皆様のご努力で南信州を代表する地域ブランド品となり、さらに「GIマーク」も獲得して世界のブランド柿と認定されました。子どもの頃から見ていた「市田柿」ですが、高森町の「未来を築く大きな宝」と再認識し取り上げました。

### 裏表紙の説明

今号は千葉支部の担当です。  
写真マニアの遠山速水さんに制作していただきました。近年、千葉県は海路・陸路の交通手段が更に良くなり首都圏の日帰り観光スポットとして注目されています。沢山のお勧めスポットをご紹介しますが今回は厳選して5景です。是非ともお出かけ下さい。

## 編集後記

スポーツは「筋書きの無いドラマだ」とよく言われる。競技者のもとより観戦する者にとってもハラハラ、ドキドキ、そして大きな感動を覚えるものだ。◆今年も既に幾つかの大きな世界大会が開催され日本中が酔いしれた。特に、二月の冬季オリンピック平昌大会、W杯サッカーロシア大会等が記憶に残る大会だった。冬季オリンピックでは羽生選手の金メダル連覇、体格では劣る女性スケート陣のメダルラッシュ、初のベスト8を夢見たサッカー等、感動と涙のドラマを見た。この後、来年のW杯ラグビー日本大会、そして2020東京オリンピック・パラリンピックが予定されている。また新しい感動と夢が見られそう。◆南信州の田舎で育った「市田柿」が県大会を制し、全国大会も制し、「GIマーク」を掲げて遂に世界の舞台へと上った。古くから関係者の努力によって磨き上げられた成果だ。高齢化によって衰退する産業もある昨今、是非とも町を挙げて「市田柿」の伝統と技術を継承し高森町の未来を拓けてほしい。そして世界の市場で「金メダル」を獲って欲しい。ふるさとの、高森会会員の夢だ。

(編集委員長 岩崎邦彦)

### 会報編集委員

- 編集委員長 岩崎邦彦(東京第一)
- 副委員長 龍口和也(埼玉)
- 編集委員 岩崎 悟(千葉)
- 編集委員 松下善一(東京第二)
- 編集委員 宮内みはる(埼玉)

# 千葉支部小景

千葉は どこでも一年中楽しめます。



## ▲大原はだか祭り（いすみ市）

五穀豊穡・大漁祈願を願う十数基の神輿が一斉に海へとかつぎこまれ、もみあう"汐ふみ"では、勇ましく雑々しく、神輿は海の中を駆け巡り、投げ上げられます。



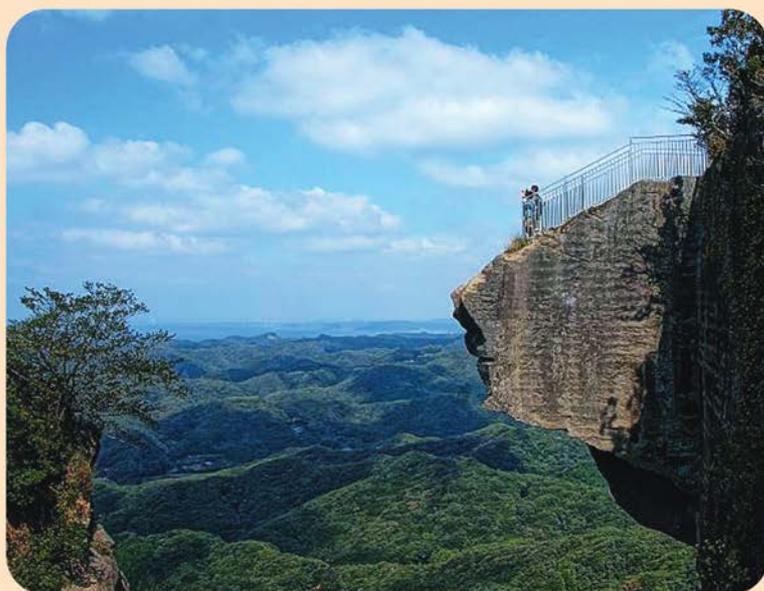
## ▲さわら雛舟春祭り（香取市）

3月お内裏様とお雛様一行が、雅楽の美しい音色とともに小野川を水上パレードする「さわら雛舟」が運航されます。



## ▲小湊鐵道トロッコ列車（市原市）

開業時に活躍したSLにクリーンディーゼルエンジンを搭載した現代版の機関車が里山トロッコ列車（4両）を連結して運行しています。



## ▲鋸山の地獄のぞき（鋸南町、富津市）

そそり立つ岩々は圧巻で、昭和60年まで房州石の切り出しが行われたそうです。地獄のぞき・山頂展望台からの景色は圧巻で怖いけど、素晴らしいです。境内には、大仏など多くの石仏があります。（拝観料600円）



## ▲白間津のお花畑（南房総市千倉町白間津地区）

太平洋に面する所で花の香りと潮風に包まれながら花摘みが楽しめます。（1月から3月中旬）